

# 放置自転車 条例制定の考えは

馬 淵 紀 明 議 員

制定に向け取り組んでいきたい

企画政策部長



**問** 放置自転車の推移と今までの放置自転車対策の取り組みは。

**答** 令和3年度まで市内8駅に放置自転車はなかった。4年度から永和駅で放置自転車が目立つようになり、4年度86台、5年度119台、6年度174台、7年度143台となっている。また、永和駅以外で放置自転車が目立つ駅はない。取り組みとしては、永和駅では、市が管理する駐輪場から駅舎までの



▲ JR 永和駅周辺の放置自転車の状況

通路沿いのフェンスに、カラーコーンや駐輪禁止の看板を設置するなど、駐輪場を利用していない利用者に対して基本的なルールの周知に努めている。また、朝の通勤・通学時間帯に職員が出向き、駐輪場以外の場所に自転車等を駐車する人へルールを守るよう声かけを行った。

**問** 市の対策だけではなく、JR東海と連携した対策が必要ではないか。

**答** 7年10月30日に東海旅客鉄道株式会社と協議を行い、同社より、放置自転車が多くの止められているJR永和駅改札口周辺の放置自転車の減少に向け、市と協働で対策を講じていきたいと回答をもらった。本市としても連携した取り組みを実施することで、効果のある放置自転車対策を進めていきたいと考えている。

**問** 全国の自治体では自転車の放置防止に関する条例が制定されているが、近隣自治体の状況は。

**答** 稲沢市、あま市、弥富市及び蟹江町が制定している。

**問** 本市は現在、条例はない。利用者のマナーの向上、放置自転車の減少、歩行者、駅利用者への通行の安全の円滑な確保を考えると、本市も条例

を策定してもよいかと思うが、市の考えは。

**答** 駅利用者の安全確保や利便性の向上、駅周辺の景観を維持するため、放置自転車対策に係る条例を制定することは効果的な対策の一つであると考えている。複数の自治体で同様の条例を制定していることから、今後、駅周辺の放置自転車問題を解消するため、他自治体の状況について調査・研究を進め、条例制定に向けて取り組んでいきたい。

## その他の質問

- 道の駅HASUパークの管理運営は
- eスポーツの推進を